

### 変化を自分たちで作り出す

6月より新チームが始動しました。引退した代を超えるべく、新たなチャレンジを楽しみながら、日々、バスケットボールに真摯に向き合っています。

新チームがスタートするタイミングで部員に伝えたのは、「自分たちで変化を作り出してほしい」ということです。

高校バスケットにおいて新チーム始動のタイミングに立ち会い、最上級生の引退でそのチームが終わるというサイクルは2回しか経験できません。その貴重な2回を同じことの繰り返しで終え、例年と大差ない成績で終えていてはもったいないと考えています。特に2年生は1年間1つのチームで活動した中で感じた、改善すべきポイントを一人ひとりが持っているはずで、その感覚を大切に、新たなチームでは「何を変え、あえて何を変えないか」を各自が発信して欲しいと伝えました。

そのアイデアの中ですぐに試せるものは試し、そこで出た課題をもとに自分たちの意見で改善を繰り返していくことでチームがよりよくなっていく体験を通して、部員の主体性を育み、将来社会に出てからも役立つ組織運営の練習をしてもらいたいと考えています。

### 自分自身の取り組みを掲示して表明する

新チームで「新たな変化を作り出す」ためにミーティングをした中で、部員から一人ひとりが自身の課題や意識すべきことを常に忘れることなく、高いレベルで取り組み続けるためにはどうしたらいいかという話題が出ました。そのことに対する解決案として、練習中、常に見えるところに自身のやるべきことを貼り、誰も見られるようにするというアイデアが出ました。

すぐに試せるアイデアだったので、さっそく一人ひとりが書くべきことを考え、練習中、誰も見られるホワイトボードに貼っています。自身の取り組みについて公表することで、目標達成へのモチベーションが高まり、部員の意識改革につながるのではないかと期待しています。

### キャプテン交代制

例年、新チーム発足時に部長、キャプテンを決めていますが、今回、そうしたチームの中核を担うメンバーを交代制にしてはどうかと私から提案しました。より多くのメンバーにチームを引っ張る立場を経験してもらいたいという思いと、一度リーダーを経験することで視野が広がり、その立場を譲った後も違った形でチームに貢献できるようになるのではないかと考えたからです。

決してこちらからの強制ではなく、決めるのは自分たちだという前提で提案したところ、コート外での活動で中心となる部長は固定し、練習中のリーダーとしてチームを引っ張るキャプテンは短いスパンで交代する形になりました。今回選ばれたキャプテンは7月下旬の合宿までとなります。現キャプテンはいかに合宿を成功に導くか。短い期間だからこそ、責任感を持って、自分のよさを出しながらチームを作っていくって欲しいと考えています。

### 勉強会

顧問発案の企画ではありますが、毎週木曜日、全員で教室に集まっての勉強会も始めました。高校生の本分は言うまでもなく勉強であり、そこを軽視してはバスケットボールにおいても大きな成長は期待できません。これも顧問から言われたから従うというレベルで終わってしまうのではなく、文武両道をハイレベルで実現するためにまずは試してみて、よりよい方法があれば提案してもらいたいと考えています。